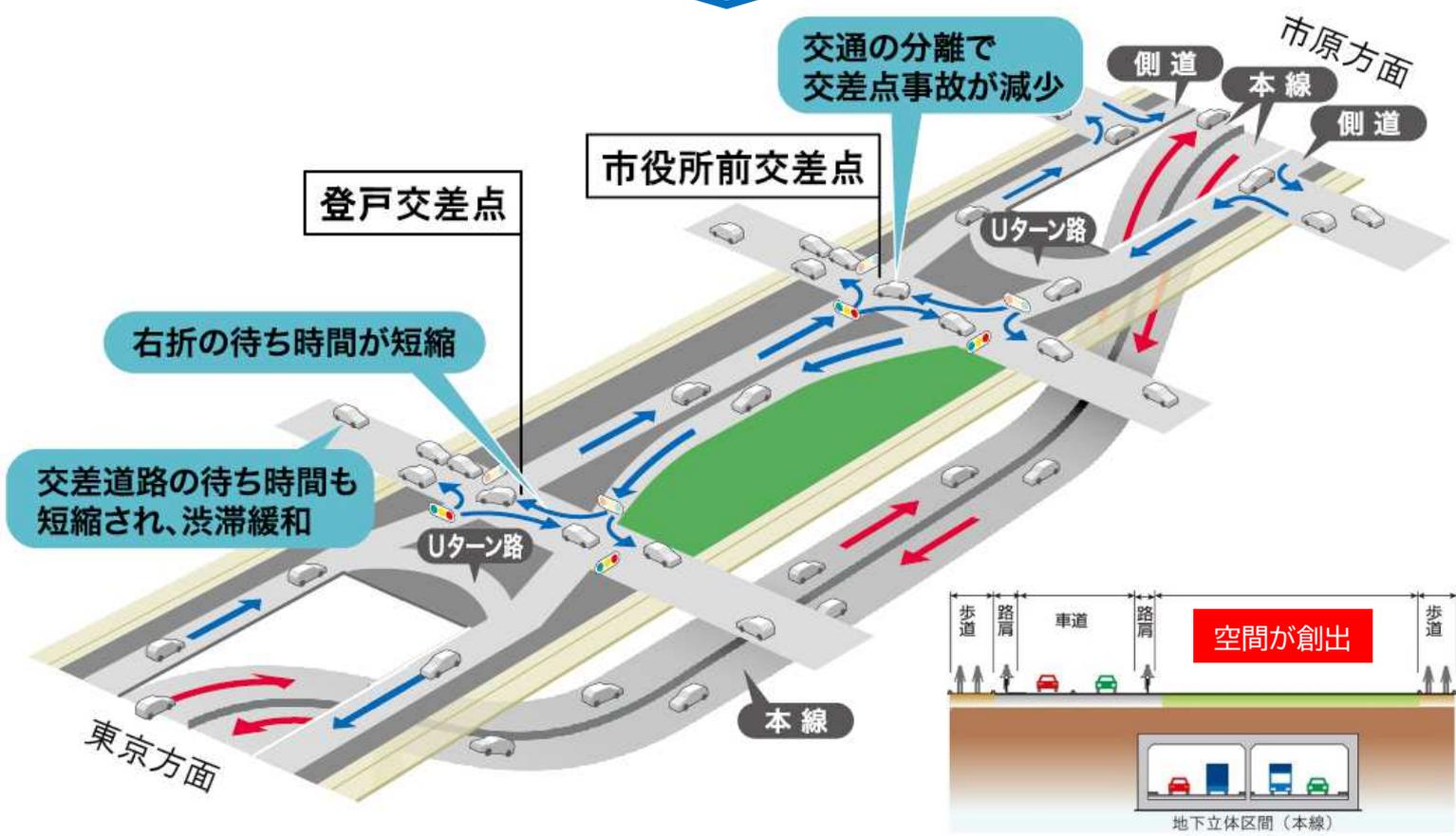
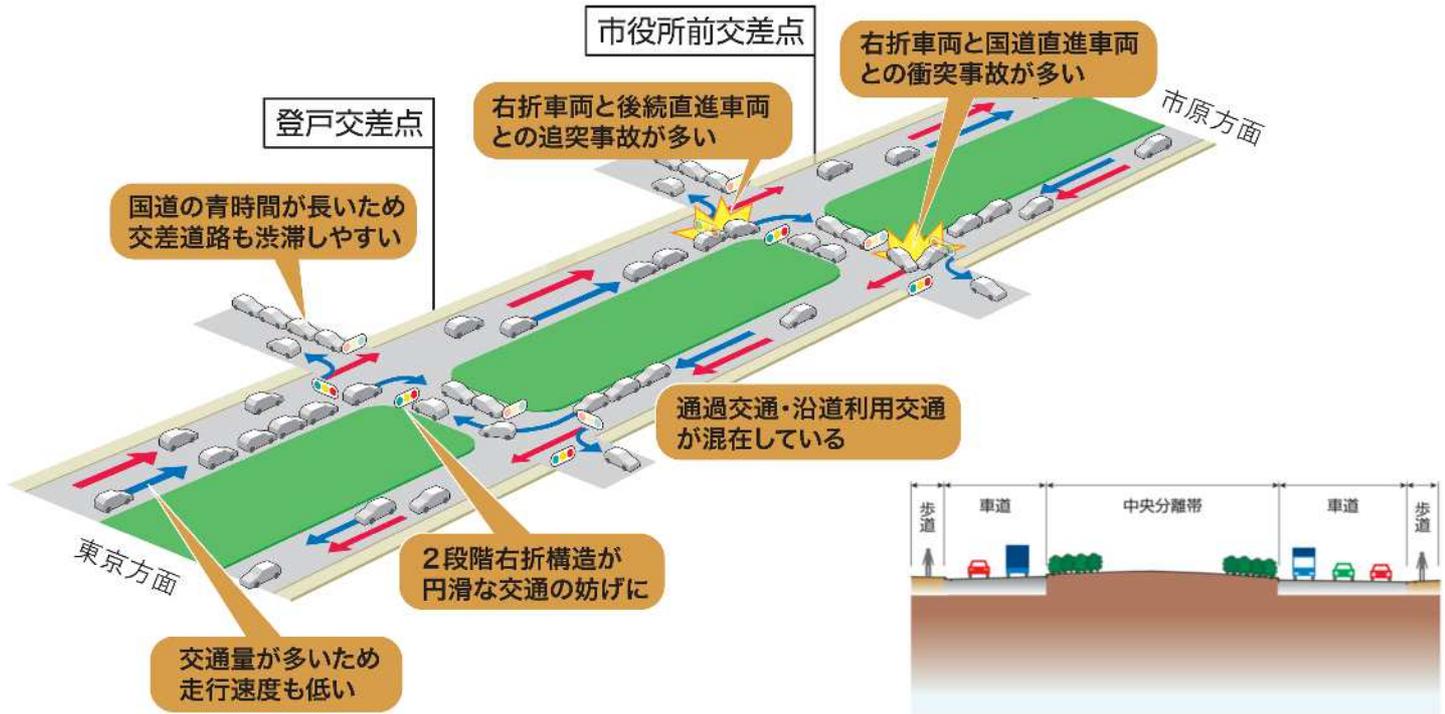
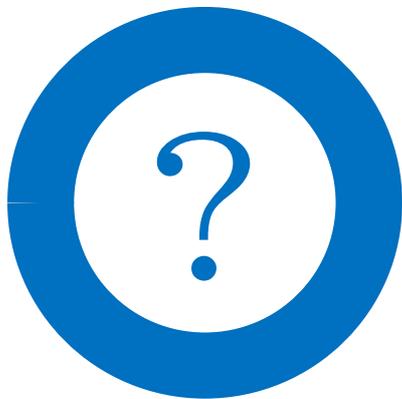




何でここに 広い空間が生まれたの？

国道本線を地下に通した結果、**広い空間**が創出されました





何で国道を地下に通したの？



幅の広い中央分離帯を挟んで片側2車線の車道でした



千葉市の中心部を通過するため渋滞が発生していました



地下立体構築状況



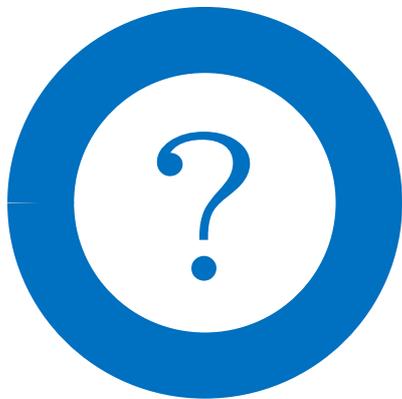
交通円滑化と安全性・快適性向上を目的に平成17年度に工事着手しました



千葉市役所前地下道完成イベント



平成27年度に車道の地下化が開通しました



国道を地下に通したら どんな効果が生まれたの？

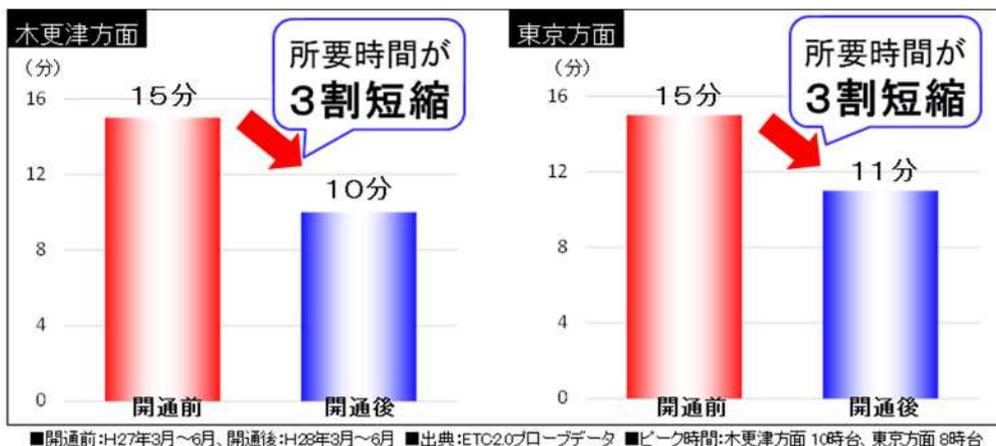
車線の拡幅と地下化により渋滞が緩和し、これまで生活道路に流入していた交通が国道に転換し、周辺エリアの**安全性**が向上しました



並行市道の交通状況

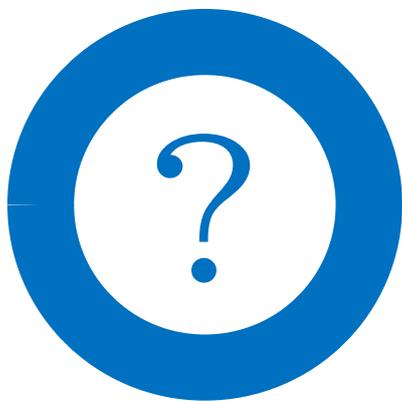


国道357号ピーク所要時間の短縮(千葉西警察入口交差点～ポートアリーナ交差点)



周辺エリアの急ブレーキ縮減



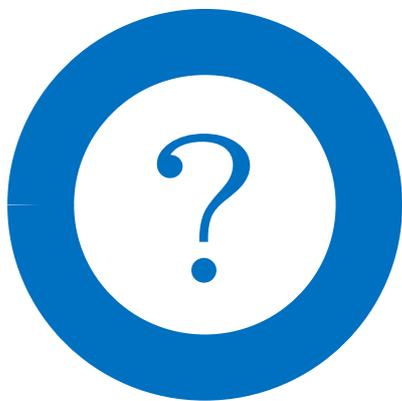


ここの広い空間を
どのように活用していくの？

千葉国道事務所、千葉市、千葉銀行で連携し、
『にぎわい創出、道路の美化活動、まちづくり』に取り組みます



にぎわい創出に向けた包括連携協定の締結式



これからの道路はどのようにしていくべきと考えているの？

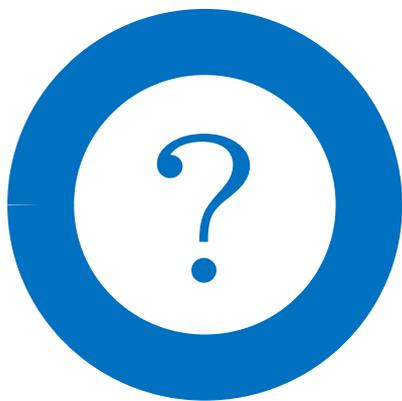
国土交通省のビジョン「2040年、道路の景色が変わる」において私たちの「幸せ」の実現について改めて考えたとき、道路を人々が滞在し交流できる空間に「回帰」させることも、現代において求められるのではないか。と提案しています。



公園のような道路



安全性や快適性が確保された歩車共存の生活道路



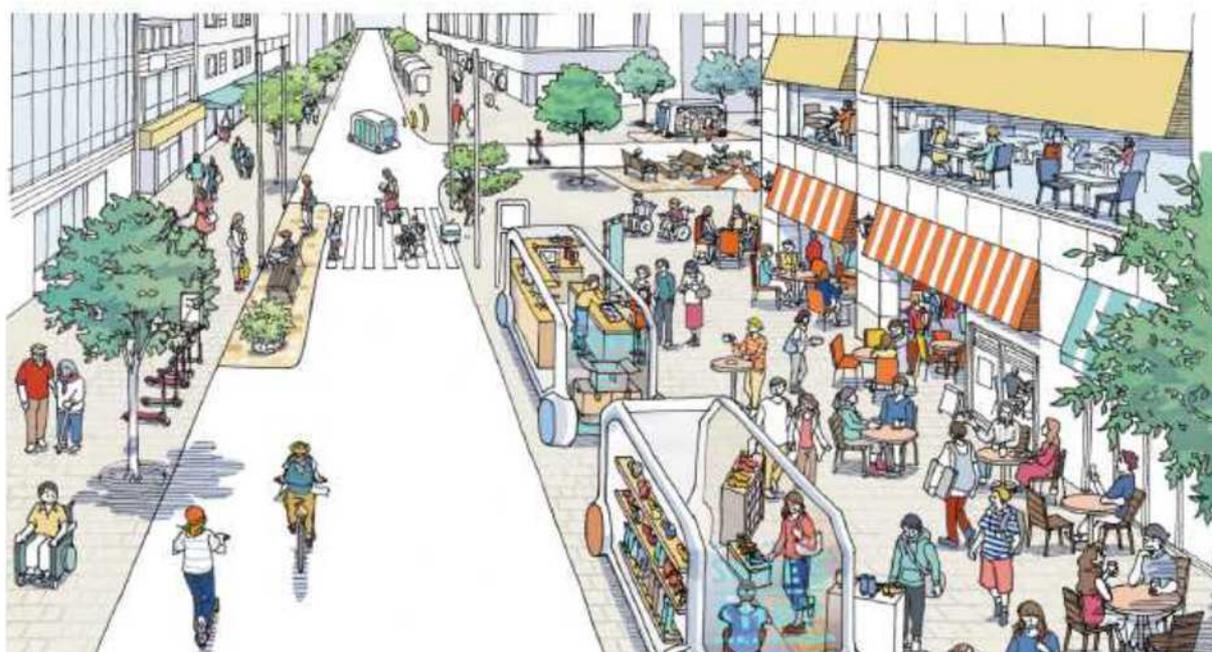
今は、道路空間の利活用で どんな制度があるの？

道路空間をまちの活性化に活用したり、歩道にカフェやベンチ等を置いてゆっくり滞在できる空間にしたいという新たなニーズに応え、**歩行者利便促進道路制度**が令和2年に創設されました。

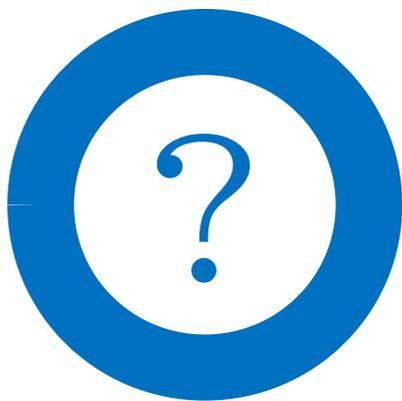
<歩行者利便増進道路のイメージ>



人中心の空間として再生した、まちのメインストリート



曜日や時間帯に応じて道路空間の使い方が変わる路側マネジメント

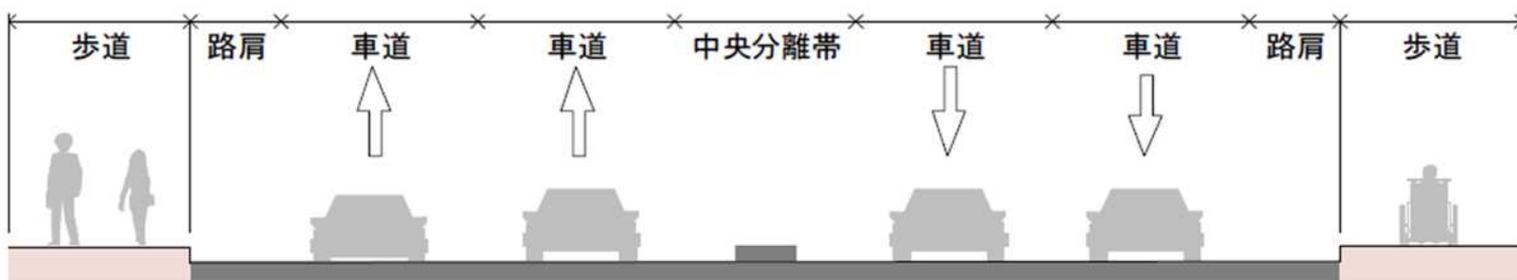


ほこうしゃりべんぞうしんどうろ 歩行者利便増進道路って何？ みち

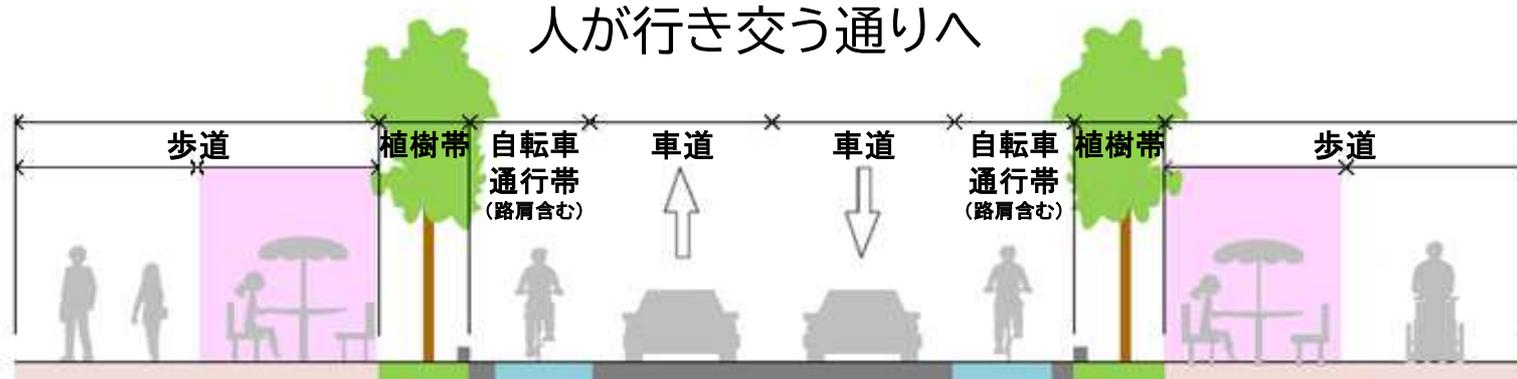
「ほこみち」といいます。
歩行者のためのみち、安心して歩ける楽しくなれる、
そこを歩く人がほっこりする
そんな「みち」になればいいなという願いを込めました。



自動車交通が中心の通りから



人が行き交う通りへ



賑わいを
目的とした空間

賑わいを
目的とした空間

「ほこみち」に指定されると・・・

- ・カフェやベンチ等が置きやすくなります。
- ・民間の創意工夫を活用した空間作りが可能となります。

まちが変わる
人と人のつながりが変わる
仕事の仕方が変わる





ほこみちのとりくみ



横浜市 日本大通り



大阪市 御堂筋



敦賀市 国道8号



奈良市 三条通り